

津久見市スポーツ協会激励会 - 津久見少年野球部 -

9月2日、津久見少年野球部が市役所を訪れ、津久見市スポーツ協会激励会が行われました。津久見少年野球部は、8月に竹田市で開催された第2回JA共済杯学童軟式野球大会兼第42回全国スポーツ少年団学童軟式野球交流マクドナルド・トーナメント大分県大会において、見事優勝を果たしました。この大会の優勝により、11月21日・22日に佐賀県で開催される第18回王貞治杯九州学童軟式野球大会(九州・沖縄各県1チーム・8チームによるトーナメント)に3度目の出場をします。ぜひとも皆様の応援をよろしくお願いいたします。



津久見高校硬式野球部優勝報告会 - 第138回大分県高等学校野球選手権大会 -



9月15日、津久見高校硬式野球部が市役所にて第138回大分県高等学校野球大会の優勝を報告しました。川野市長は「新チームでの最高のスタート」と賛辞されるとともに、「市民の皆さんが応援している。伸び伸びと思いつつ野球をやり切りたい」と、激励の言葉を掛けられました。それに対し國廣主将は今後の大会を見据え、「全員野球でがんばりたい。」と力強く決意表明されました。

『株式会社 鳥繁産業』、大分県優秀健康経営事業所の知事顕彰を受賞

令和2年度大分県優秀健康経営事業所(県内5事業所)として、株式会社鳥繁産業が表彰され、9月17日に津久見市役所で川野市長に取り組みを報告しました。

会社は、平成27年に健康経営事業所に登録し、健康づくりを会社ぐるみで楽しみながら進めています。健診や精密健診を受けることは当たり前という社風をつくり、取り組みの効果として離職率が低く、体調不良による急な休みが減少したなど、会社の生産性の向上にも反映されています。

仕事は人生の一部であり楽しく歳をとりたい、今後も職場ぐるみの健康づくりに創意工夫をしながら主体的に取り組んでいきたいと抱負を語られました。

主な取り組みは・・・

- ◆健診バスによる健康診断を実施し、受けやすい環境を整えている。
- ◆管理部が毎年の健康づくりの重点目標を掲げ、目標取組宣言書を保健所に提出。
- ◆禁煙外来の受診勧奨(個別面談)
- ◆給与明細に「健康情報」を同封
- ◆毎朝のラジオ体操の定着(製造工場)
- ◆津久見市のマイレージ事業への参加 など



※市ホームページ内「取材日誌」、市公式フェイスブックにて、掲載できなかった写真や記事をご覧ください。

新しいかたちで楽しい体験を 津っぱく-season6Re-



津久見ならではの魅力的な体験プログラムが楽しめる「津っぱく-season6Re-」が8月8日から9月21日の間、開催されました。今回は、新型コロナウイルスの影響で中止となった「津っぱく-season6-」のかたちを変えて再挑戦する意味合いを込め、マスクを着用する、検温を行うなどのコロナ対策をしっかりと実施した上で取り組みました。プログラムの中には、おなじみのものづくり体験や体を動かすもののほか、花火のもととなる花火玉のレプリカづくり、きれいな海でのシーカヤック体験など、夏ならではのプログラムもあり、子どもから大人まで楽しむことができました。次回の「津っぱく-season7-」は、来年の春ごろに開催予定です。

算数・数学の苦手を克服！
市教育委員会主催「夏の学習クラブ」



8月17日から5日間にわたって、市民館で小学5年生と中学1・2年生を対象とした「夏の学習クラブ」が開催され、地域住民の方を講師に迎えて算数・数学の演習を行いました。子どもたちは講師の皆さんの指導の元、問題を解く際のポイントを確認しながら、一生懸命学習に取り組んでいました。

第二中学生が入賞
少年の主張大分県大会



県内の中学生が経験や日常生活の中で感じた思いを発表する「少年の主張大分県大会」が8月28日に市民会館で開催され、1291名の応募者の中から一次審査、二次審査を通過した10名が発表を行いました。津久見市からは、第二中学校3年の園田海斗さんが「胸を張れる人生」という題で発表し、優良賞を受賞しました。

イサキの稚魚を放流



国内の釣り具用メーカーなどで行う(一社)日本釣用品工業会が、9月16日(水)保戸島沖の漁場にイサキの稚魚28,100尾を放流してくれました。この放流活動は、海の自然環境を守ることを目的に「つり環境ビジョン」コンセプトに基づくLOVE BLUE事業として行われており、当日は大分県漁協保戸島支店の組合員も自分たちの漁場となる海と一緒に放流を行いました。